

三田市立幼稚園再編計画（案）説明会概要

【小野小学校体育館：出席者数：13人】

日時：10月11日（日）15：00～16：30

発言者	出席者の発言（概要）	市の回答（概要）
A	<p>①幼稚園の統合・再編は望ましい子どもの数というところからスタートして、方法論として、小野地区であれば、4つの園を志手原幼稚園にまとめるという考え方は、おそらく正しいと思います。</p> <p>地域の立場から考えますと、同時進行している上野台中学校と八景中学校の再編の問題にも参加しています。中学校の望ましいクラス数、そのための再編という枠組みの中で議論が進んでいます。この案は突然に広報紙で示され、令和5・6年度というスケジュールありきで計画をされています。考え方として間違いと言えないかもしれませんが、あまりにも唐突で、跡地利用の選択肢としても説明の最後で地域と検討していくとされていますが、避難所は残すというように非常に条件が付けられています。</p> <p>地域からすると小学校はまだ具体的には何も決まっておられません。幼稚園、小学校、中学校は接続して子どもたちの育ちを行政と地域が保障していく、進めていくということであると思います。</p> <p>幼稚園も小学校も中学校もこの地域から無くなってしまわないのかと多くの方が危惧しています。地域が具体的に先行して考えていけばいいのかもしれませんが、議論する時間がありません。中学校はいくつかの選択肢がある中で上野台中学校と八景中学校という方向に進んでいますが、この幼稚園の案については選択肢が全くありません。</p> <p>都市計画の規制の中で、小野区は450戸ほどの中で30戸ほどが空き家になっています。さまざまな理由がありますが、転入よりも転出が特段に多いことが一番の課題だということで、新しい家が建てられない中、数年前からは空き家に住んでもらうことに一生懸命に取り組んでいます。今後も転入対策に力を入れてやりたいと思っていますが、数年後に幼稚園がない地域では、子育てができないということで非常に大きなブレーキをかけられてしまいます。できるだけ若い方、地域に住んで働いていただけの方に入っていただくことで、地域の活性化や環境保全を図りたいと思っていますが、それにも非常に影響を及ぼします。そのことを私たちは考えなければならないと数年前から思っていますが、この幼</p>	<p>①農村部の幼稚園で園児が減ってきている問題を緊急に解決するためにご提案しています。各地域でご説明させていただく中で、幼稚園だけの問題ではないというご意見をたくさんいただいています。</p> <p>幼稚園の現状として、例えば小野幼稚園では園児数が1桁で行われる教育・保育が果たしてどうなのかという危機感から、適正な集団規模を確保したいということでご提案しています。</p> <p>これを解決する手法として、提案している他に選択肢がないのかということについては、各地域からさまざまな意見をいただいています。これはあくまで案ですので、いただいたご意見などを参考にしながら、取り入れるべきものは取り入れ、修正する内容があれば修正していきたいと思っていますが、いろんな意見が出ているので、直ちにここを修正するという事は、今お答えできない状況です。</p> <p>地域のいろんな課題に非常に影響を及ぼすというご意見につきましては、いただいたご意見を踏まえて、改めて検討させていただきたいと思えます。</p> <p>市北部エリアに就労支援型の保育施設がないため、ニュータウンや市街地等でご利用されている方がいる現状の中で、農村部においても、今回の案では0～2歳は含まれていませんが、少なくとも3歳児以上の幼児教育の部分で長時間保育の選択肢が北部エリアに必要であるということを加味して提案しています。</p> <p>農村部においても、できるだけ近いところで、仕事しながら子育てしていただける環境づくりができればという考え方ですので、いただいたご意見を踏まえて、どんな方法が良いのかを考えていきたいと思えます。</p>

	<p>稚園の統合・再編については選択肢、考える余地がないのかという気持ちもしております。施設利用等についても書いてありますが、地域としては小学校も含めてトータルに考えていかないといけない。幼稚園だけのことを考えると認定こども園を増やすことは正しい方向かもしれませんが、地域にとっては、あまりにも時間の壁が大きいです。</p>	
B	<p>②認定こども園の案は、少人数の中でどれだけ子どもが育まれていくのかということに関しては積極的だと思いますが、存続するという方向での案はなかったのですか。</p>	<p>②農村地域の7つの幼稚園の園児数が非常に減っており、ほとんどの園で1桁の園児数になっています。今後も幼児教育の環境としては非常に小さい集団が続いていくので、この状態で存続していくということはなかなか難しいと考えます。そこで規模の拡大のため、再編・統合という形になっています。この状況を変えていくには、一定再編して適正な規模にということでご提案していますので、全部残していくという形での検討はしていません。</p>
	<p>③ICTを使った遠隔による幼児教育は検討されていないのですか。少人数でも他の園と通信で繋いで、保育や交流などはできると思います。いろんな人と接することが大切であるということは解決できる問題だと思いますが、どのようにお考えですか。</p>	<p>③幼児教育と小学校以降の教育の違うところは体験です。直接、友達との関わりや、日々一緒に遊び、何かに触れて感じることなど、子ども同士の関わりの中で幼児期は育つ部分が非常に大きいと思います。先ほどご説明した「育ってほしい10の姿」の中で、集団でなければ育たないところは協同性だと思います。友達と一緒に目的を持って何かをやり遂げる。役割分担をして、一緒に何かを切磋琢磨しながら作り上げていく。こういう経験はその場を共有しないと育っていかないことだと思いますので、幼児期の学びの中にICTを取り入れて遠隔でやっていくということは、案としてはあるかもしれませんが、幼児期の育ちの中でふさわしいのかどうかは検討していきたいと思っています。</p>
	<p>④三田市ではそういうお考えということですか。日本全国でもそういう取り組みをしている幼稚園はないということですか。</p>	<p>④例えば、離島などでそういう教育をされているところはあるかもしれませんが、今のところは聞いたことがありません。</p>
	<p>⑤幼稚園や中学校が無くなると小学校も無くなるのではないかという話も絶対に出てくると思います。市街化調整区域で家が建てられない、近所の小学校が無くなると三田市全体の問題だと思いますが、過疎化がもっと加速すると思います。</p> <p>幼稚園に通っている子どもの数が減るから再編という話ですが、人口を減らさないため、ニュータウンに集中しないようにすることや、地域格差をなくす取り組みは全く考えていないのですか。どの地域も必ず少子高齢化になり、そのうちニュータウンでも同じようになっていくので、三田市全体で取り組まないといけない話であると思います。</p>	<p>⑤人口を増やす対策は市全体の課題です。規制が行われるまでは、家がどんどん建っていたという経過を考えると、人口の減少要因の一つに規制の部分があると思います。この規制は、乱開発を規制せざるを得ない状況が起こって導入されたという経緯もありますので、農村地域の活性化は市全体で取り組まなければならないと思っています。</p> <p>ただし、社会・経済情勢の大きな流れの中で少子高齢化が進んで、人口が減少していることも事実です。そのような中では、人口を増やすことがなかなか形になって現れないと思いますが、人口を減らさずに維持していく、できれば増やしていくということはやっていかなければならない問題である</p>

	<p>市街化調整区域になっている以上は、人が減る一方で、学校は無くなり、買い物をする場所は近くにないということになる。交通の便を増やせばいいということではないと思います。そこを全体的に考えていただきたいと思います。</p>	<p>思っています。</p> <p>幼稚園の再編につきましては、原因の一つに人口や子どもの数の減少が園児数の減少につながっていることは間違いのないところだと思います。もう一つは、保育ニーズの高まりによって、市立幼稚園がその受け皿になれていないことです。現状の課題である就園されているお子さんや今後就園されるお子さんの環境が今のままではいけないということでご提案しています。それぞれ関係し、どちらも進めていかなければならない問題と考えています。</p>
	<p>⑥跡地の有効活用について、どのくらい地域に権限移譲されるのか。条件が付いて地域の要望が叶わないのであれば、権限移譲をして、地域の声をまとめていただきたいと思います。この会場に来られている方は9割9分が行政関係の方です。地域の方は多分数名しか来られてないと思います。パブリックコメントはあると思いますが、真摯に受け止めていただきたいと思います。</p>	<p>⑥今は案の段階で跡地活用についての具体的なものはありません。市の考え方としては、基本的に地域の方で管理も含めて何かしていただけるものがあるれば、窓口は異なるかもしれませんが、市全体で考えていきたいと思っています。また、民間のニーズも考える必要があると思っています。小野幼稚園は市指定避難所となっていますので、その機能は継続していきたいと考えています。</p>
A	<p>⑦認定こども園、地元での就労に対する保育ニーズというお話をいただきました。約50年前、小野小学校の児童数は60人ぐらいで、志手原小学校と統合する直前までいっていたが、子どもが増えたために小野小学校は存続されて今に至っています。そのときに志手原小学校と統合されていけば、幼稚園も上野台中学校も含めて、違った展開になっていたと思っています。</p> <p>今のグラウンドに小学校がありました。ここには羽束中学校の分校もあり、小学校と中学校の一貫教育のため、当時は中学生と一緒に遊んでいました。校舎を建て替えるとき、当時はそれほど子どもが増えないだろうということで、定員30人の広さの校舎が建ちました。市街化調整区域として規制がないため、その後に開発が進んで、約70戸だったところが約450戸となり、ニュータウンの縮図のような地域でした。それで、慌てて増築校舎を建てたという経過があります。</p> <p>小学校の話は具体的ではありませんが、小学校の児童が45人しかいない状況で、この50年という時代の流れの中、無くなってしまうとおしまいという思いを強くしています。</p> <p>地域の活性化として、子どもたちだけではなく、高齢者や転入して来た人も住みやすい地域していくことは、ここにいる私たちの責任だと強く思っています。数年前に障害者の通所施設を建設したいという相談を</p>	<p>⑦この計画案に至ったベースは、まずは集団の確保として、提言もいただいた同年齢で15人～30人程度です。集団の確保は幼児教育の中でいろんな体験をしていくために重要視しています。志手原に統廃合することであれば、将来の子どもの数を見たときに、クリアできるということです。統廃合以外での方法であると、今の推計では提言に基づいた一定規模の数の確保が非常に難しくなっていると思いますが、この考え方を外すのであれば、そういう議論も一つ出てくる可能性があります。</p> <p>フラットな形でご意見を聞いて、最終的にどういう形で市民の方にご理解をいただく手続きができるのかと考えています。</p> <p>今申しあげた考え方で現在に至っていますので、その前提を度外視するのであれば、一度持ち帰らせていただきたいと思います。この場で選択肢があるのかというと、実際ないということしか申しあげられないということです。</p>

	<p>受けたことがあります。そこで障害者の方を就労させてくれば、地域にいろいろなニーズが生まれて、活性化するのではないのかということで取り組んだことがあります。市街化調整区域や建ぺい率などの法律の壁がありできませんでした。空き家に人を呼ぶということでは、山や田があり、空気がきれいで、交流人口が一定あって、そこに幼稚園・小学校があるという環境が若い人にとって大きな要素となっています。</p> <p>先ほど言われたようにICTを使つての仕事、必ずしも都会の会社に通わなくてもできる時代になっていますし、そういうことがトレンドになってくると思いますので、ここで起業して、新しい事業を起こしていくことを若い人たちにこれから声掛けをしていきたい。そういった方も含めて地域に住んでもらいたいと思っています。そういうことで子育ての環境がこの場がないのは非常に辛いと思っています。</p> <p>4園を統合・再編して志手原という案が示されていますが、昨日の高平地域の説明会では、高平幼稚園を残してほしいという意見が非常に多かったと思います。例えば、直ちに15人～30人にはならないかもしれませんが、高平幼稚園を残して、残り3園を統合するという選択肢があるのですか。3園と1園で良いという意味ではなく、考え方の幅として有り得るのかをお伺いしたいです。</p>	
C	<p>⑧幼稚園の同じ学年は4人しかいませんが、先ほど言われていた協同性というのは、1学級15人でないと育たないという認識ですか。</p> <p>幼稚園では他の園と交流をしています。うちの子を見る限りでは新しい出会いもありますし、そういう交流を増やすことによって、協同性はある程度、解決できるものではないですか。</p> <p>⑨私自身は人数が増えたほうが良いと考えています。子どもが大きくなったら、小学校・中学校と大きな団体に所属していきます。小さなところから大きなところに入っていくと、何らかの抵抗があったり、極端な話、別のグループからいじめられることがあったりします。大きいグループに対して小さなグループは気が弱くなってしまうことが怖いという思いがあるので、できれば最初から大きな団体、言われているように、統合して人数が確保できるのであれば、それはそれで良いと思っています。</p>	<p>⑧子どもたちの遊びや生活は、日々場を共有しながら、つながっていると思います。交流はたくさんの友達と遊ぶ機会になるとと思いますが、何日間か離れていて、交流するとなると、活動の流れとしては途切れることになります。</p> <p>交流によって集団の遊びを経験することはできますが、同じ場所で生活し、子ども同士が互いのことを知り合うなかで協同性というのは育まれていくのではないかと考えています。</p> <p>⑨地域に就学前のお子さんがおられますが、保育園に通われているので小野幼稚園に通われていないということは、おっしゃるとおりの状況です。0歳から5歳の各年齢の推移を見ますと、若干多い年もありますが、各年代の子どもの数が4～5名ぐらいで今後も続いていきます。全員が幼稚園に来られても最大その人数で、適正な規模に比べますと少ないと思います。</p> <p>各園で保育機能を作るにはかなりの資源が必要となり、今の行政の財政状況では非常に難しいというのが現実です。何とか小野幼稚園で保育ニーズに応えることができれば、それがベストだという思いは非常にわかりませんが、</p>

	<p>今、保育園に通っている子どもがいます。小学校になったときに、今年であれば幼稚園に通っていた子どもより保育園に通っていた子どもははるかに多く、その子どもたちが小野幼稚園に通っていたら10人以上は確保できたのではないかと思います。幼稚園に認定こども園の機能を付加できるのであれば、保育園に通わさなくても幼稚園に通わせることができますと思います。その水準に持っていくことができれば、十分機能して続けることができ、その方が地域にとっても良いという思いが若干あります。自分の子どもが親になったときには、まず帰ってこないと思います。幼稚園、小学校、中学校が無くなった地域にできればたくないというのが私の気持ちですが、そのあたりはどうでしょうか。</p>	<p>なかなか難しいというのが現実ですので、今回の認定こども園をご提案しています。</p>
B	<p>⑩今回の案で、人口が減ってきて集団でという発想としては、賛成の立場ですが、地域に住む人間としては、地域が廃れていくのではないのかという危惧が目に見えているので、ここの対策をしっかりと立てたうえで、この話をしてほしいというのが大前提としてあります。急にこの話が降って湧いたように見えているところが一番の問題点だと思います。極端にいうとこの話を白紙に戻すことはあるのですか。</p> <p>⑪例えば小野幼稚園に他の園を移すということはあるのでしょうか。</p> <p>⑫今の話では9割決まっています、残り1割を私たちの意見を取り込んだり、取り込まなかったりという方向性にしか聞こえないですけど、自然の中で戯れながら生活することは、子どもの教育としてはかなり良いと思います。小野にしてほしいというわけではないですが、小野や高平であっても、バスを出すのであれば、距離的にはそれ程変わらないと思います。確認は取れていませんが、志手原地区は市街化調整区域になっていないと思うので、そこに移動して、小野・高平幼稚園が無くなると小野・高平地区はさらに衰退していくと思います。</p>	<p>⑩あくまでも案ですので、修正の度合いや、議論を続けていく必要性はあると思いますが、白紙にするということを現段階では考えていません。結果として、いろんな議論の中でこの先どうなるのかということについては申しあげることにはできないので、この場では控えさせていただきます。</p> <p>⑪各地域、それぞれ住まわれている地域にという想いは、皆さん強く持っておられると思いますが、7園全園を認定こども園にするのは非常に難しいと思います。4園を1園に集約する場所については、今後の議論の中で合意形成が取れるのか、将来的に集団確保や市が目指している教育が継続的にできるのかなど、いろんな観点で検討する必要があると思っています。</p> <p>計画はあくまでも案ですので、どのような形の変更ができるのかは申しあげられませんし、さまざまな可能性があるとは思っております。ご要望ということであれば、一旦持ち帰らせていただきます。</p> <p>⑫何割程度入れる、入れないというのは、一切持っていません。一旦はフラットな形でご意見を聞く中で、この案をたたき台として、子どもたちや保護者にとってより良い計画づくりを進めていく、より多くの方々の合意形成をとっていく中で進めていきたいという想いです。大きく変わることによって、より良いものができるという判断も可能性としてはあると思っています。今日のご意見も踏まえて、庁内に持ち帰って、どんな形ができるのかを議論していきたいと思っています。</p>

	<p>人口が減ってきた中で集団保育を確保するための取組自体は賛成ですが、三田市全体で見ますと、もう少し何かあるのではないのかというバランスの問題があると思います。そのあたりを是非取り入れてほしいと思います。</p>	
A	<p>⑬幼稚園教育のあり方としては、少人数よりは大勢のほうがメリットはあると思います。少人数には少人数のメリットがありますが、全体を計画していく中では適正な規模ということでの案として進められていることは理解しています。</p> <p>今は小学校の話は具体的に出ていませんが、時間的な幅の話は小学校や上野台中学校にも関係してきます。高平地域の説明会で発言された方の中では、高平幼稚園を存続してほしいという意見が圧倒的であったと理解しています。仮に高平幼稚園を残して、志手原、母子、小野の3園があまりに人数が少なすぎるので、協議の必要性はあるが、人数が大事であるため、大方がこの案に基本的に賛成となった場合はどうするのか。私たちにはそういうことを考えていく余地があるのか、ないのかということがわかりません。</p> <p>仮に小野幼稚園が無くなった場合の跡地活用について、小野幼稚園は市の避難所に指定されているため、今の段階では残したいという話でした。防災上は当然であり、条例を変えてほしいとは言いませんが、そこを縛られると民間企業に外部活用してもらうことはできません。防災のときは仕事を止めてくださいということはありません。企業が来て、働く人が来て、ここに住んでくれて、子どもが産まれることは、私たちとしては万々歳です。仮に幼稚園が無くなり、避難所を必ず残すとなると、そういう絵を描くことができません。行政でも考えていただけと思うが、地域の問題として私たちも考えていかなければならないと思います。</p> <p>この幼稚園の問題は具体的な話が出たのが最近で、事前に私たちが協議しておけば済む話かも知れませんが、今後も話をしていきますが、内容的にも時間的にも制約されているという印象を強く持っています。</p> <p>中学校は仕方ないという地域の方の意見があるかもしれませんが、幼稚園の問題は少し違います。同じ適正規模という部分でスタートし、子どもたち、園児たちの学びの場としてはより望ましいと思いますが、存続するかしないかは、0か100の世界です。そこは地域が判断してい</p>	<p>⑬この計画は時間軸も含めて案という形で出させていただいています。唐突であるというご意見や、きちんと議論をしたいというご要望を受けましたので、進め方、議論の仕方についても検討させていただきたいと考えています。</p>

	<p>なければならぬと思っています。</p> <p>行政の案に賛成か反対か、または別の道を探るのか。いろいろ意見が出ていますが、今の段階では具体的にまとめきれていません。まとめたいと思いますが、時間的なことも含めて、幼稚園を残す余地があるのか。限られた時間の中で、今日以降、キャッチボールをさせていただきたいと思います。説明会後にはパブリックコメントを実施されますが、あとは議会や専門家に委ねてくださるとなると地域としては見守るしかない。絶望感とは言いませんが、恐怖感を持っていますので、そういうことも踏まえて考えていただきたいです。</p>	
D	<p>⑭子どもの数の話がベースになっていますが、小野幼稚園の卒園式に行ったときに入園式と見比べると非常に成長して卒園していました。</p> <p>少ない人数で先生が2人いて、隅々まで目が行き届いていて、良い成長をしたと思って喜んでいました。これは小さいがゆえの良い点だと思います。こういう教育が続けられたら、小野小学校や中学校に行っても基礎ができてから良いと喜んでいました。</p> <p>これが統合されて大きな認定こども園になると先生の数はどうなりますか。小野幼稚園の園児数は一桁台で2人の先生が面倒を見てくれていますが、そんなことはまず望めないと思います。無邪気に子どもが遊びまわったり、泣いたりしているときに隅々まで目が行き届くのか心配です。もし統合するのであれば、先生の数を増やしてもらいたいというのが私個人の意見です。</p>	<p>⑭子どもたちは、地域の方やいろいろな方の力添えで成長していくことを嬉しく思っています。地域の方にはご協力いただきまして、本当にありがとうございます。多い人数より少ない人数の方が目は行き届くと思いますが、幼稚園の教育は、担任は一人ですが、担任以外の先生が配置されていたり、支援の必要なお子さんであれば、加配の先生が配置されたりと先生たちはチームで見えています。その中で子どもたちのことについても先生たちは普段から話をし、よく理解をして関わっていますので、人数が増えるから見てもらえなくなるという心配はなく、ご安心していただきたいと思います。そのために、幼稚園の教諭も資質向上のための研修も積み重ねています。</p> <p>子どもたちを成長させるということでは、もちろん先生との関わりも大切です。丁寧に関わっていくことも大切だし、友達同士と関わって育つ部分も大切ですので、目が届く人数、そして子どもと関わり合える人数ということで適正規模を15人～30人と考えています。</p>
	<p>⑮先生の数は増えないということですか。</p>	<p>⑮15人～30人で学級担任の先生は一人ですが、必要な加配の先生やクラスを持たない教諭が配置されていますので、必要なときに複数で見るということになります。</p>
	<p>⑯1クラスに関わる人数の決まったものはないということですか。</p>	<p>⑯幼稚園の1学級は35人以下となっており、その中で担任が1人となっていますが、三田市では15人～30人が相応しいのではないかとということで適正規模を考えています。</p>
E	<p>⑰昨日と今日、説明会に参加しましたが、特に高平地区では発言された意見の圧倒的多数の方が反対で、幼稚園を残すことを強く望まれている感じでした。教育的観点も大事かもしれませんが、学校を残すか、無くすかは社会的な大きな問題だと思います。教育行政だけではなく、全体</p>	<p>⑰今までは園児数が少なくなってきましたが、幼稚園を維持してきました。少ない園児数でも育ちを保障するため、現場では一生懸命に教育を行い、現在に至っています。</p> <p>しかしながら、園児数がさらに減ってきて、1桁台の園があり、一番少な</p>

	<p>の都市計画やまちづくりの観点からの説明があってもいいのではないかという意見があったと思います。</p> <p>再度説明会を開催されるという発言もありましたけれど、まちづくりの観点からもどのように検討したかという結果も説明されることを期待したいです。子どもの数が少ないということで、統廃合ありきで進められています。どのように残すのかということをご検討されてきたのでしょうか。どのような方策があるのかわかりませんが、他市の事例なども含めて検討されてきたのかを教えてください。</p> <p>昨日と今日は、ほとんどが残してほしいという意見でしたけれど、今日の午前中に賛成意見もあると言われていて、賛成と反対の両意見があると思います。昨日と今日の話聞く限りでは、賛成より反対意見が住民の意思としては強いと思います。そういうことを受け止めてどのように検討されるのか、賛成と反対が半分半分と思われるのか、それとも昨日と今日の結果を見て反対意見が圧倒的だと思われるのか、そのあたりも教えてください。</p>	<p>いところは1人であり、何とかしていかなければならないと考えています。</p> <p>地域では、賛成、反対のさまざまな意見をいただいています。</p> <p>そもそも少人数、つまり適正な規模のために統合して認定こども園化していくことについてもどうかという意見もあります。また、統合して認定こども園化したときに地域に関係するいろいろな部分があるということで反対という意見、大きく分けるとこの二つです。幼稚園の教育の部分で提案している根本のところですので、少人数の良さもわかります。</p> <p>市が提案しているのは、今の課題を改善するためであり、そういう意見をどのように上手く融合させて策定していくかが核であると思います。</p> <p>もう一つは、何かを変えていこうとすれば、地域にはいろんな影響があるという意見があります。全く関係がないというのではなく、どのように解消していくのかということも併せて考えなければならぬと思っています。</p> <p>賛成、反対という意見は出ていますけれども、持ち帰らせていただいている部分もございまして、その中身を検討したうえで進めていきたいと思っています。</p> <p>幼稚園を残す取り組みとしては、公立幼稚園の園区の見直しや公立幼稚園の魅力づくりとしての園庭芝生化の実施、少子化の中でもすぐ閉園するという議論ではなく、異年齢で同じ学級で見る混合保育にも取り組んできました。いろんな原因はありますが、結果として、園児数が増えてないという実情を踏まえて、このままの状況では子どもたちにとって、幼児教育のあり方として課題があるということで今回の案を提示したということです。</p>
B	<p>⑱小野幼稚園の経営は赤字になっているのですか。教育面で無くすというお話だと思いますが、このまま経営を続けると市の財政を圧迫するので無くすという話であれば、ある程度納得できる場所もあるので、そのあたりを聞かせてください。</p> <p>教育面だけの話であれば、ICTを使い、少人数でも育まれることや、自然が豊かであること、他の幼稚園ともっと交流したらいいなど、子ども同士もそうですが、子どもと大人と地域との関係性の中で、多世代での交流で子どもは育まれるなど、いろいろご意見が出ると思うので、教育面だけでは説得力がないので、財政面について教えてください。</p> <p>⑲幼稚園を無くすという話になった場合、有効活用として、企業を誘致して、家賃を取って収入を増やすということを同時に進めないと、ただ</p>	<p>⑱教育的な効果を重視していて、財政的な判断は少し難しいですが、現実問題として幼稚園は、ほとんど市の税金で運営しています。ほとんどが人件費や建物の維持管理費です。それを歳出といいます。逆に歳入がほとんどありません。預かり保育料はありますが、幼児教育無償化になり、特に公立幼稚園は補填がないため、収入はほぼ預かり保育料しかありません。ただし、預かり保育についてもその人員を雇っていますので、それに見合う財源は、ほぼ税金となっています。</p> <p>⑲ご意見として承らせていただいて、庁内でそのあたりをどのようにしていくかを検討させていただきます。</p>

	<p>無くなるということでは地域の人は納得しないと思います。自分たちの地域の幼稚園を残すことばかりを言ってしまうと、市全体の財政を圧迫してしまうので、自分たちは一歩引くという話にはならない。三田市全体でバランスをとって、この幼稚園を残す、残さないであるとか、地域の問題も含めて解決していかなければならないと思うので、次回説明会を開くのであれば、他課の方を連れてきて、総合的なお話をお願いします。</p>	
A	<p>㊟高平地区でもう一度説明会を行うという約束の話があったと思います。もう一度説明してほしいという地域には行かれると思いますが、要望のない地域があるかもしれません。そういった時間のずれといいますか、そういうものが出てくると思うのですが、このスケジュールで私たちが検討する時間が取ればいいですが、選択肢がこれ以外に示されていない中で、私たちも明日から議論を始めようと思っています。パブリックコメントという次のチャンスを提示していただきましたが、次にアクションをするのが、大体いつ頃というスケジュールを持っているのですか。地元に対する今後のスケジュールについての考えがあれば聞かせてください。</p>	<p>㊟当然、何らかの形で進めていくのは必要でございますので、今日ご案内できればいいのですが、説明会の各会場でいただいたさまざまなご意見を取りまとめて、その内容や進め方についても、庁内で議論したうえでご案内させていただきたいと思っています。パブリックコメントの機会は当然、設けますが、それ以外でもご意見をお伺いさせていただきます。</p> <p>ただし、庁内でいろんなことを検討する必要がありますので、お聞きしたご意見は一定のものが出ればお答えさせていただきたいと考えています。</p> <p>今後の進め方につきましては、またご案内させていただきたいと思います。</p>